

令和2年度 事業報告書

公益財団法人 横浜市シルバー人材センター

I 事業実施状況の報告

令和2年度は、公益財団法人横浜市シルバー人材センター（以下「センター」といいます。）が設立40周年を迎える節目の年であり、近年の会員数及び契約金額の下落基調に歯止めがかかった令和元年度の傾向をより強固なものとするべく、会員拡大・受注拡大を重点項目としました。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、4月に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、センター内外への感染拡大抑止と安全確保を最優先に配慮しながら（※）、入会促進・会員支援、受注開拓の取組を行いました。【達成率】会員数：93.1%、就業実人員：82.6%、契約金額：81.3%

※ 感染症対策の具体的な取組内容は別表参照

【重点事業】

- 1 会員拡大
- 2 受注拡大

【目標数値】

- 会員数 11,150人
- 就業実人員 7,250人
- 契約金額 3,917,160千円

注：「就業実人員」と「契約金額」の数値は、受託事業と派遣事業の合計数値です。

令和2年度事業実績 (対目標)

項目\年度		目標	令和2年度	達成率 (%)
会員数 (人)		11,150	10,384	93.1
就業実人員 (人)		7,250	5,989	82.6
契約金額 (千円)		3,917,160	3,185,383	81.3
内訳	請負・委任 (千円)	3,154,484	2,558,417	81.1
	労働者派遣 (千円)	762,676	626,966	82.2

(対前年度)

項目\年度		令和元年度	令和2年度	前年度比 (%)
会員数 (人)		10,383	10,384	100.0
就業実人員 (人)		6,743	5,989	88.8
契約金額 (千円)		3,559,827	3,185,383	89.5
内訳	請負・委任 (千円)	2,844,758	2,558,417	89.9
	労働者派遣 (千円)	715,069	626,966	87.7

新型コロナウイルス感染症の事業運営への影響

○会員数

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、緊急事態宣言発令中の4月（前年度比22.8%）、その後の県内の感染者数が激増した12月（前年度比39.9%）及び緊急事態宣言再発令中の1月（前年度比58.3%）・2月（前年度比58.8%）に入会者数が大きく落ち込みました。

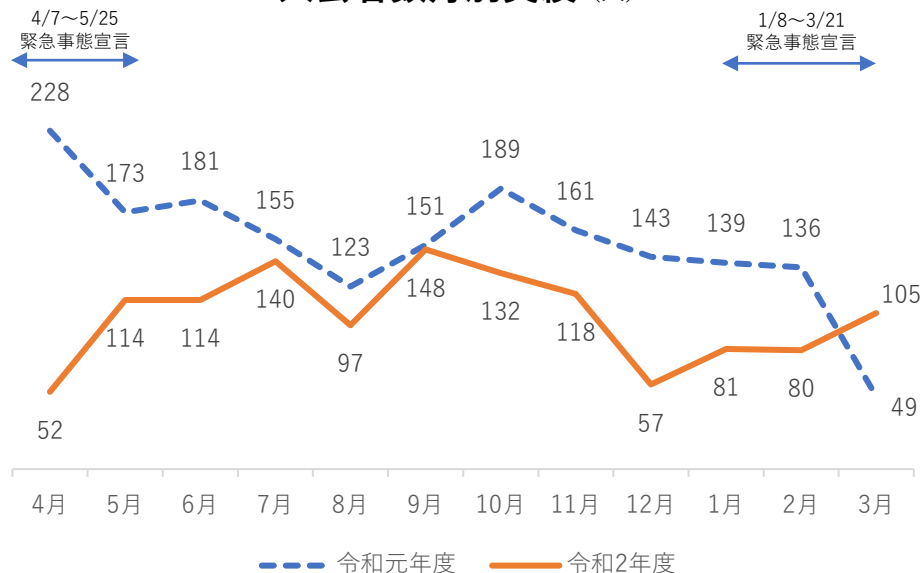
これは、社会状況に応じて登録希望者自体が減少したことに加え、会員登録説明会における集団対応の中止、出張しごと相談会等のイベントを中止したことなどが影響しています。

しかしながら、感染症対策を行った上で会員登録説明会（予約制）の個別対応の実施のほか、来所不要で会員登録が完了するオンライン会員登録をモデル実施するなどした結果、会員数は1万人台を堅持するとともに、昨年度を上回る10,384人となりました。

○契約金額

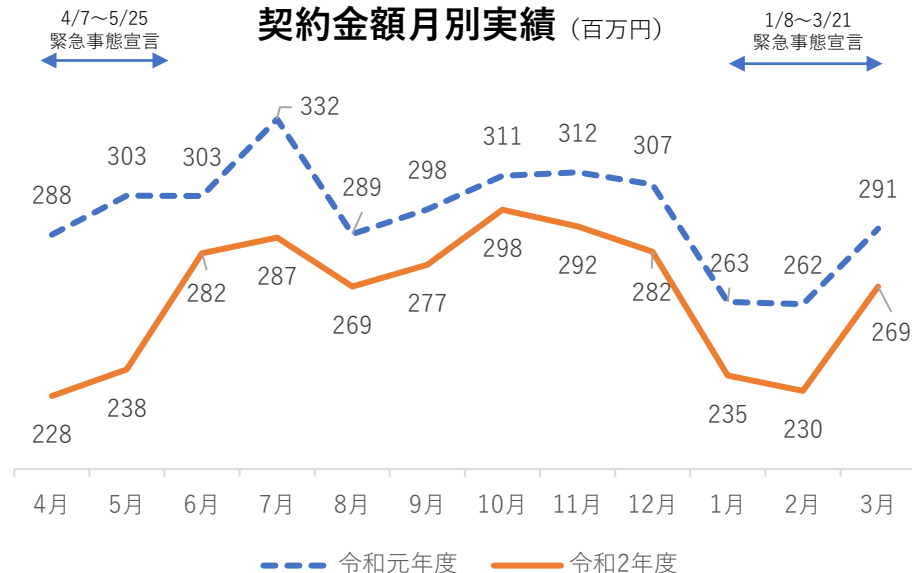
契約金額は3,185,383千円で、前年度比89.5%となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、継続受注の中断・終了及び縮小が増加するとともに新規受注依頼が減少し、特に4月・5月が大きく落ち込みました。職種別では、屋外作業が主となるマンション清掃や公共広報物の配布等一部を除き、大きな影響を受けました。一方で、公共施設内の消毒や利用者検温、スーパー内におけるカゴの消毒等、新型コロナウイルス感染症対策に係る業務を新たに受託しました。

入会者数月別実績（人）



請負・委任、労働者派遣事業

契約金額月別実績（百万円）



※各月ごとに四捨五入を行っているため、各月の合計と合計の値とが一致しない場合がある。

II 事業実施報告

1 会員拡大

【入会促進】

会員登録説明会における集団対応を中止したほか、出張しごと相談会等のセンターイベント及び区民まつり等の地域イベントが中止となる等、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けました。一方で、在宅のままで会員登録ができる『オンライン会員登録』を11月からモデル実施するとともに（オンライン会員登録者数：61人）FMラジオCMや広報よこはまの会員募集広告のほか、AMラジオ番組での理事長対談やタウンニュースにおける理事長インタビューでのオンライン会員登録のPR等、事業活動PRの強化を図りました。

<実施内容>

(1) 出張しごと相談会の定期開催

- ・新都市プラザ、商業施設、郵便局等で開催
区役所、地区センター、コミュニティーハウス等で開催



・センター主催の出張しごと相談会は中止
※個別にハローワーク港北（11月）・横浜南（7月～2月）・戸塚（9月～2月）で相談会を開催し、17人が入会

(2) 女性会員の獲得強化

- ①女性向けセミナー
- ②女性限定しごと相談会



①健康ストレッチセミナー（2月）は中止
②家事サービスに係る女性限定のお仕事説明会を磯子事務所で2回開催し7人参加

(3) 関連機関との連携

- ・地域イベントへの参加（区民まつり、シルバーフェスタ等）



・例年参加していた区民まつり等は中止
・横浜市就職サポートセンター主催の「再就職セミナー」（8/19開催）に参加し、PR用DVD上映と会員募集用リーフレット43枚の配付を実施
・公益社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会（以下「県シ連」といいます。）主催「60歳からのお金と働き方セミナー」（10/27）に参加し会員募集用リーフレットの配付と会員登録説明を実施し、6人が入会
・賛助会員要綱を新設し、2企業が賛助会員として登録

(4) 広報戦略

- ・広報よこはま、ミニコミ誌、ラジオ（FM・AM）等を活用したPR
※ラジオCMを**初実施**



・Fm yokohama84.7でのラジオCM（4月～3月）を実施
・テレビ朝日「スーパーJチャンネル」にてセンター取材内容が放送（7月）
・ラジオ日本における理事長対談によるPR（9月）を実施
・広報よこはま4月号・7月号・9月号・1月号に会員募集の広告を掲載
・タウンニュースの「人物風土記」に理事長インタビューが掲載（1月～3月）

(5) シルバーポイント制度のポイント付与項目の拡充

- ・ボランティア活動参加者も対象に追加



・令和2年3月にボランティア活動参加を付与項目に追加し、令和2年4月発行会報で会員に周知
・理事長が必要と認める場合は、シルバーポイント対象表によらない活動に対するポイント付与を可能とし、令和3年1月から令和3年3月末までの会員募集チラシ配布活動にポイントを付与

II 事業実施報告

1 会員拡大

【会員支援】

会員の「働く」を支援するため、就業情報の提供に重点を置きました。事務所掲示板及び会員専用ホームページ「Smile to Smile」への就業情報掲載件数を増加するとともに、1月発行会報に「Smile to Smile」就業情報の同封、1月に未就業会員（1,673人）を対象に就業情報を送付し、会員への就業情報提供を実施しました。

<実施内容>

働く

ライフスタイルに合わせた「生きがい就業」を支援します。知識や経験、スキルを活かした就業機会の確保を支援します。

- ・個別対応の就業相談は実施する一方、集団対応の就業相談会は中止
- ・Smile to Smile に就業情報を449件掲載（対前年度比139.9%）。
- ・Smile to Smile の就業情報を1月発行会報に同封し、Smile to Smile を使用していない会員を含む全会員への就業情報提供を実施
- ・植木・除草業務を希望する会員に対し、各事務所において「植木・除草業務説明会」を67回開催し、86人の会員が参加
- ・シルバー講師派遣の登録情報をホームページに新規4件掲載し、合計18件掲載
- ・就業のイメージをわかりやすくするため、各職種の内容や曜日・配分金等の条件や発生頻度を記載した職種紹介書面を作成して事務所内に掲示

学ぶ

趣味から広がる新しい世界。趣味を深掘りし、仕事として成立する程度まで、技術習得を支援します。

- ・植木剪定研修（初級：10月、11月）、植木剪定研修（中級：11月）を開催し、計26人が参加
- ・家事講習、植木剪定研修（短期）は中止
- ・会員増強及び派遣・請負就業の拡大を目的とした「高齢者活躍人材確保育成事業」を厚生労働省から受託した県シ連と連携し、地域の高齢者に対し、技能講習（横浜会場）を9回実施（参加者87人、入会者78人）

参加する

興味から趣味に。趣味やボランティア活動を通じた仲間づくりを支援します。

- ・交流会及びサークルは、県下の感染状況等を考慮の上、感染症防止対策の実施を条件に開催（交流会：5回、サークル：33回）
- ・ボランティア活動は中止
- ・第37回創作展（令和3年2月予定）は開催を延期

II 事業実施報告

2 受注拡大

契約金額は3,185,383千円（請負・委任：2,558,417千円、労働者派遣：626,966千円）で、前年度比89.5%となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、8月までは訪問営業活動を自粛し、受注開拓活動を制限していましたが、9月から活動を再開し、その一環として、事業推進員による企業への営業活動のほか、区民利用施設への役職員による訪問営業を実施し、受注開拓活動を行いました。

新たな取組として、横浜市技能文化会館の指定管理者に応募しましたが、非選の結果となりました。今後も新たな事業開拓を行っていきます。

<実施内容>

(1) 受注開拓

- ①新規顧客の開拓
- ②既存顧客への追加受注の開拓
- ③営業体制の整備



- ① ②事業推進員により訪問PRを実施（321件）。新規顧客について、公共・企業等の新規顧客数は293件で前年度比107.7%、家庭の新規顧客数は2,507件で、前年度比84.4%。既存顧客について、単発受注を除く前年度の顧客のうち令和2年度も受注のあった顧客数は2,190件で、84.4%の継続率
- ③専門的業務を希望する会員のスキルシート（シルバースキルシート）を活用した提案営業体制づくりを開始し、21人の会員が登録（令和3年3月末時点）

(2) 独自事業の拡充・新規創出

- ・会員のスキルを活かした就業機会の確保を図ります。



- ・屋内実施の独自事業は下半期から再開し、72回開催、参加者782人
- ・屋外実施のシルバーマルシェを6月から再開し、24回開催、参加者429人

(3) 企業向けPR戦略

- ①ダイレクトメール
- ②会員スキル情報の閲覧



- ①加入企業へのチラシ配布PRを一般社団法人横浜市工業会連合会へ依頼、DM回覧を横浜市金沢団地協同組合（140部）・横浜金沢産業連絡協議会（550部）へ依頼、既存発注者へ追加受注募集チラシを400部発送
- ②会員情報（所有資格、希望職種等）及びスキルシートの登録情報をホームページに公開し、企業向けにPRを実施

(4) 市民の利便性向上

- ・件数が多い植木・除草の依頼を24時間Web上で受付（Web受注）



- ・植木・除草のWeb受注について214件の申込を受付
- ・令和3年1月、空き家管理のWeb受注を開始し、2件の申込を受付

II 事業実施報告

3 安全・適正就業推進

事故件数は、56件で前年度より2件増加しました。そのうち、会員傷害事故35件（前年度比1件増）、会員賠償責任事故21件（前年度比1件増）が発生しました。会員傷害事故発生原因別では、転落等が前年度比5件減であった一方、熱中症が前年度比2件増、就業途上の交通事故が前年度比5件増となりました。

また、例年転倒による事故が多く、設立40周年事業の一環として、下肢にポイントをおいたストレッチ（シルバーストレッチ）を作成し、1月発行の会報掲載による会員周知を行いました。

ワークシェアリングの推進については、本部営業指導課と各事務所担当が連携して長期就業の改善に取り組みました。

<実施内容>

(1) 安全管理委員会の設置
各事務所に本部安全管理委員と
支部安全管理委員を配置します。



- ・各事務所に本部安全委員と支部安全委員を配置
- ・本部安全管理委員会を12月に開催（5月は中止）
- ・支部安全管理委員会を32回開催（4月・5月・6月・1月・2月は中止）

(2) 就業先への現場確認
環境改善及び予防を行います。



- ・巡回視察を53回実施（4月・5月・6月・1月・2月は中止）
- ・巡回視察中止時期は、配分金明細への安全就業啓発チラシの同封、就業会員への事故発生速報の周知を実施

(3) 安全啓発研修
植木業務安全啓発研修
電動工具安全啓発研修
刈払機安全啓発研修



- ・植木業務安全啓発研修、電動工具安全啓発研修、刈払機安全啓発研修、交通安全講習会は中止
- ・コロナ禍での過度な外出自粛によるフレイルを予防・改善するための啓発記事を令和2年9月発行会報に掲載

(4) シルバー保険への加入



- ・継続してシルバー保険に加入

(5) 適正就業の推進
適正月間（11月）に受注内容の検証
ワークシェアリングの推進



- ・受注内容について全件点検を実施し、業務内容等の適正検証を全職員で実施
- ・同一発注者同一場所で5年を超えて就業している長期就業会員793人（令和2年4月1日時点）のうち、令和3年3月末時点で114人が解消

II 事業実施報告

4 人事・組織体制

同一労働同一賃金への対応として、関連する就業規程等を改正しました。どのような人材を育成すべきかについては、「職員育成ビジョン（素案）」に取りまとめました。業務の効率化については引き続き議論を進めます。

<実施内容>

(1) コーディネーターの配置

福祉・家事援助サービス会員コーディネーター
植木・除草会員コーディネーター



- ・福祉・家事援助サービス会員コーディネーターを各事務所に2人配置
- ・植木・除草会員コーディネーターを各事務所に2人配置

(2) 事業推進員の配置

新規顧客開拓や会員募集活動を行います。



- ・各事務所に1人配置
- ・5月・6月・2月は活動を中止。再開後も会員募集チラシ配布等の屋外活動を中心に実施（訪問面談件数321件、受注開拓チラシ等配布枚数19,014枚、会員募集チラシ等配布枚数45,372枚）

(3) 職員育成ビジョン

計画的な職員育成を可能にするため職員育成ビジョンを作成し、これに即した研修体系を構築します。



- ・2月に職員満足度調査を実施し、職員の動向を把握
- ・目指すべき職員像や職位ごとの役割などを明確にした「職員育成ビジョン（素案）」を作成。前記動向を反映
- ・令和3年度から運用開始予定

(4) 同一労働同一賃金への対応

法令で求められている職員間の待遇差是正だけでなく、より効率的な組織への再編を目指します。



- ・同一労働同一賃金への対応に合わせて就業規程の改正を実施
- ・業務の見直しによる効率化の推進については次年度も継続して実施予定

(5) 健康経営の取組

令和2年度は横浜健康経営認証AAAの取得を目指します。

職員の健康に対する意識を向上させます。（衛生管理者試験の受験勧奨、健康セミナーの受講など）
保健師による各職員との健康相談を行います。
(健康診断後に年1回)



- ・横浜健康経営認証AAAの取得に向けた体制を構築（保健師による健康相談体制を整備）
- ・感染症（コロナ含む）がテーマの健康セミナーを実施(11月)

II 事業実施報告

5 設立40周年事業

設立40周年記念事業の開催
当センターの関係者（会員・発注者・関連団体等）
に感謝を伝えます。
（令和2年10月27日(火)新都市ホールで開催予定）



<実施内容>

- ・新都市ホールで予定していた設立40周年記念事業は中止
- ・記念事業に代わり、下記を実施
 - * 令和3年1月発行会報に特集ページを掲載
 - * ホームページに特設ページを設置
 - * 令和2年度在籍会員にシルバーポイントを6ポイント付与
 - * 会員へのエコバッグ進呈
 - * シルバーストレッチの作成
 - * 設立40周年記念ロゴの作成

<ホームページ用ロゴ>



<名刺用ロゴ>



6 その他



- ・「基本計画2016～2020」の振返りを行うとともに、次期基本計画「基本計画2021～2023」を策定
- ・入会促進・退会抑制の観点から、会員登録料及び年会費制のあり方を検討し、令和3年度から令和5年度までの会員登録料の免除を決定
- ・労働者派遣事業における県シ連との受託収益の按分比率を検討
令和3年度は令和2年度と同様の按分比率維持を決定

7 評議員会・理事会の開催

評議員会	6月・3月予定
理事会	6月・11月・3月予定



評議員会：5回（うち決議の省略による開催が4回）
理事会：8回（うち決議の省略による開催が6回）
※ 詳細は別表II-7参照

I 新型コロナウイルス感染症に関する事項

(1)横浜市シルバー人材センターにおける感染対策一覧

区分	項目	状況	備考
外部向け (市民・会員)	Web上でコロナ対応方針を宣言	継続中	
	Web上でイベント等の実施状況を開示	継続中	
	事務所での感染予防チラシの掲出	継続中	
	神奈川県が推奨しているLINEコロナ通知システムの導入	継続中	
	来訪者に対する手指消毒、マスク着用、検温、連絡先提供の呼びかけ	継続中	
	会員が利用する部屋の消毒	継続中	
	会報、HPを通じた会員への体調管理（毎日の検温）の呼びかけ	継続中	
職員向け	職員の手指消毒、マスク着用の徹底	継続中	
	感染対応マニュアルの整備	継続中	
	時差出勤・変則勤務の実施	継続中	
	公共交通機関以外の交通用具を用いた通勤の実施（自転車通勤など）	継続中	
	在宅勤務の実施	継続中	
	サテライトオフィス		現在は未実施

(2)横浜市シルバー人材センターにおける新型コロナウイルス感染状況（令和3年5月28日現在）

会員9名と職員1名が発症し、8名が回復している。

II - 1 會員擴大

◇會員數・入會者數・退會者數

項目\年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
會員數 (人)	9,411	10,383	10,384
對前年度比 (%)	94.8	110.3	100.0
男女人數(男/女)	6,257/3,154	6,795/3,588	6,799/3,585
男女比 (男/女) (%)	66.5/33.5	65.4/34.6	65.5/34.5
平均年齡(歲)	72.8	73.2	73.7
入會者數 (人)	1,673	1,828	1,238
對前年度比 (%)	101.2	109.3	67.7
男女人數(男/女)	1,075/598	1,053/775	747/491
男女比 (男/女) (%)	64.3/35.7	57.6/42.4	60.3/39.7
退會者數 (人)	2,187	856	1,237
對前年度比 (%)	87.8	39.1	144.5
男女人數(男/女)	1,378/809	515/341	743/494
男女比 (男/女) (%)	63.0/37.0	60.2/39.8	60.1/39.9

II - 1 會員擴大

◇就業実人員・就業率・就業延人員

項目\年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度
就業実人員	請負委任(人)	5,832	5,996	5,271
	対前年度比 (%)	89.4	102.8	87.9
	労働者派遣(人)	854	983	909
	対前年度比 (%)	118.3	115.1	92.5
	合計(人)	6,451	6,743	5,989
	対前年度比 (%)	92.6	104.5	88.8
就業率 (%) ※		68.5	64.9	57.7
就業延人員	請負委任(人日)	672,044	642,487	559,981
	対前年度比 (%)	91.5	95.6	87.2
	労働者派遣(人日)	88,120	110,524	98,809
	対前年度比 (%)	128.0	125.4	89.4
	合計(人日)	760,164	753,011	658,790
	対前年度比 (%)	94.6	99.1	87.5

※就業実人員 (請負委任・労働者派遣) / 会員数

II - 2 【受注拡大】

◇請負・委任事業 事業実績

項目\年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
契約金額（千円）（対前年度比）	3,005,994（91.8%）	2,844,758（94.6%）	2,558,417（89.9%）
受託件数（件）（対前年度比）*1	51,062（96.4%）	50,739（99.4%）	46,745（92.1%）
受注件数（件）（対前年度比）*2	20,930（95.3%）	20,868（99.7%）	18,958（90.8%）
就業実人員（人）（対前年度比）	5,832（89.4%）	5,996（102.8%）	5,271（87.9%）
就業延人員（人日）（対前年度比）	672,044（91.5%）	642,487（95.6%）	559,981（87.2%）
受取事務費（千円）（対前年度比）*3	261,626（91.9%）	265,802（101.6%）	238,969（89.9%）

※1 受託件数は、受注ごとの就業実績件数。就業報告が発生した月にそれぞれ1計上。

※2 受注件数は、契約ごとの件数。計上の仕方は、受注データの就業期間項目の開始日が統計年月に含まれる場合に、1計上。

※3 受取事務費：会員配分金の10%（消費税込）

II-2 【受注拡大】

◇労働者派遣事業 事業実績

項目\年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
契約金額（千円）（対前年度比）	578,572（126.9%）	715,069（123.6%）	626,966（87.7%）
契約件数（件）※1（対前年度比）	1,004（121.0%）	1,275（127.0%）	1,284（100.7%）
派遣人数（人）（対前年度比）	854（118.3%）	983（115.1%）	909（92.5%）
就業延人員（人日）（対前年度比）	88,120（128.0%）	110,524（125.4%）	98,809（89.4%）
受託収益（千円）※2（対前年度比）	68,073（140.1%）	75,874（111.5%）	63,390（83.5%）

（主な仕事：スーパー等の小売業での品出し、機械清掃、施設での食事作り）

* 1 契約件数：派遣契約期間毎に1カウントしている。（3か月契約、6か月契約等）

* 2 受託収益：会員に支払う賃金の20%（消費税別）相当額を契約名義人である、県シ連と業務分担割合に応じて按分している。

◇有料職業紹介事業 事業実績

項目\年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
契約件数（件）（対前年度比）	28（75.7%）	28（100.0%）	13（46.4%）
就職人数（人）（対前年度比）	42（91.3%）	31（73.8%）	40（129.0%）
受託収益(千円)※（対前年度比）	798（74.3%）	803（100.6%）	1,596（198.8%）

（主な仕事：各企業からの一般事務・会計事務、施設管理、清掃）

* 受託収益：雇用された者に支払われる給与の11%（消費税込）、最大6か月分。なお、県シ連から事務委任を受けて実施している。

II-3 【安全・適正就業推進】 (2) 就業先への現場確認

◇事故発生状況

項目\年度	令和元年度	令和2年度	増減
会員傷害事故 (件)	34	35	1
賠償責任事故 (件)	20	21	1
合計(件)	54	56	2
男女人数 (男/女) (人)	28/26	41/15	13/-11
男女比 (男/女) (%)	51.9/48.1	73.2/26.8	-
就業中 (件)	48	48	0
就業途上 (件)	4	8	4
その他 (件)	2	0	-2

※「その他」…サークル、講習会、ボランティア活動中の事故。

II - 7 【評議員会・理事会の開催】

◇評議員会

開催日	場所	議案内容
第1回 (令和2年4月1日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 補欠理事の選任について
第2回 (令和2年5月15日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 補欠理事の選任について
第3回 (令和2年5月21日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正について
第4回 (令和2年6月26日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 令和元年度(平成31年度)事業報告について 第2号議案 令和元年度(平成31年度)決算について
第5回 (令和3年3月26日)	研修室	第1号報告 令和2年度収支補正予算について 第2号報告 公益財団法人横浜市シルバー人材センター会員及び就業に関する規程の一部変更について 第3号報告 基本計画2021~2023<<令和3年度~令和5年度>>について 第4号報告 令和3年度事業計画について 第5号報告 令和3年度収支予算について 第6号報告 同一労働同一賃金への対応を踏まえた労働条件の見直しについて

II-7 【評議員会・理事会の開催】

◇理事会

開催日	場所	議案内容
第1回 (令和2年4月1日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 常務理事兼事務局長の解職及び解任並びに理事長の選定について 第2号議案 常務理事（補欠代表理事）の選定及び事務局長（重要な使用人）選定について 第3号議案 補欠評議員選定委員会委員の選任について
第2回 (令和2年5月7日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター補欠評議員の推薦について 第2号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター評議員選定委員会運営規則の改正について 第3号議案 令和2年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
第3回 (令和2年5月21日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 令和2年度第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
第4回 (令和2年6月12日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 令和元年度（平成31年度）事業報告について 第2号議案 令和元年度（平成31年度）決算について 第3号議案 評議員候補者の推薦及び選定について 第4号議案 令和2年度第4回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
第5回 (令和2年6月27日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 理事長及び常務理事の選定について 第2号議案 会員及び就業に関する規程の一部変更について
第6回 (令和2年8月31日)	書面表決 (決議の省略による)	第1号議案 評議員選定委員の選任について
第7回 (令和2年11月18日)	会議室 1	第1号議案 公益財団法人横浜市シルバー人材センター職員就業規程の変更について 第1号報告 令和2年度上半期における事業の状況等について

Ⅱ - 7 - 2 【評議員会・理事会の開催】

◇理事会

開催日	場所	議案内容
第8回 (令和3年3月18日)	研修室	第1号議案 令和2年度補正予算について 第2号議案 会員及び就業に関する規程の一部変更について 第3号議案 令和3年度事業計画について 第4号議案 令和3年度収支予算について 第5号議案 令和2年度第5回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について